

# いきいき中国

## タブレット熟年熱く

画面を直接触って操作し、インターネットやカメラ機能が使える「タブレット端末」が広がっています。パソコンよりも手軽に使い、文字を拡大して文章を読めるため、愛用する中高年も増えているようです。

### 大きな文字目が楽

「鍵マークに指を当てて、マはアプリのインストール」と横にのぼして。ホーム画面が出て来ます」

11月中旬、倉吉市にある「ゆっくりやさしくパソコン教室」。39〜76歳の女性6人がタブレット講座に参加していた。この日のテーマは「タブレットで地図を見たり、料理レシピを検索したりするために専用のアプリが必要です。アプリを端末に組み込むことをインストールと言います」



タブレット端末の基本操作を学ぶ受講者ら＝倉吉市山根



アカウント、ログイン、ダウンロード。次々と出てくるカタカナの用語を教室長の大東かおりさん(32)が丁寧に説明していく。「こんなことができるってつかんでもらえたら、言葉は覚えんでもいいです」

少人数でテーブルを囲み、講師との距離が近いため、ちょっとした疑問も尋ねやすい。受講者たちは指を動かしながら、「来た来た」「へえ」と声をもらす。「スマホを使いこなすために画面の大きいタブレットの使い方を覚えたい」「ここなら恥ずかしいことも聞ける」と口々に話す。

市内在住の主婦、山本弘子さん(73)は今年9月から参加。「アイルランドで暮らす娘にタブレットで写真を送りたい。でも習ったことをすぐ忘れちゃう」と笑う。何度か受講してタブレットを買った女性(76)は、無料で使える電子図書館「青空文庫」のアプリを入

れた。「大きな文字で本が読めて目が楽になった」と喜ぶ。

講座が開講したのは昨年9月。電源の入れ方からインターネットやメールの使い方、スケジュール管理などを教える。1回2時間で3150円。受講者約50人のうち半分が60歳以上だ。「タブレットは持ち運べ

### 82歳「世界広がる」

琴浦町に住む榎田幸二朗さん(82)は、2年ほど前にタブレット端末を買った。「ちょっと知りたいことを調べるのに便利。使う前とは世界がはるかに違う。もう手放せない」と話す。

朝早く目が覚めた時は、

て手軽に使えるので、パソコン教室の利用者の関心を集めている」と教室を運営する「スイコー商会」の松田雅彦・統括部長(54)。「画面が大きいことも中高年に受け入れられやすい理由では」とみる。希望者が多く、新しいクラスを開くとすぐに定員が埋まってしまふという。

布団の中で天気予報をチェック。家庭菜園で育てる白菜の肥料について調べ、病院の待合室でニュースを流し読みする。気になる情報を手軽に探せる点が気に入っている。「昔は本を引っぱり出すのが面倒で諦めていたこともすぐにわか



2年ほど前からタブレット端末を愛用している榎田幸二朗さん＝琴浦町

次回(2014年1月11日)は「冷え性」がテーマ。対策や冷えに潜む病気について紹介します。

追伸 記者より



(村井七緒子)

読書が好きな女性が「タブレットで大きな文字で本が読める」とうれしそうに話すのが印象的でした。子どものインターネット依存などは注意が必要ですが、タブレットやスマホで世界が広がることを実感。榎田さんの柔軟な姿勢に刺激を受け、私もタブレットの購入を考え始めました。

(村井)